

平成 26・27・28 年度創業塾受講生へのアンケート
調査結果

平成 29 年 3 月

公益財団法人 栃木県産業振興センター

平成 26・27・28 年度創業塾受講生へのアンケート調査結果

- 1 調査時期：平成 29 年 1 月 19 日～2 月 20 日
- 2 調査方法：郵送による送返信
- 3 対象者：栃木県産業振興センターが実施した平成 26～28 年度創業塾受講生 128 人のうち、重複者を名寄せした 128 人
- 4 発送：128 人
- 5 回答：51 人
- 6 回答率：39.8%

○ 性別

男性	女性	計
28	23	51
54.9%	45.1%	100.0%

○ 年齢

①50 歳代	②40 歳代	③30 歳代	④60 歳以上	20 歳代	20 歳未満	計
18	13	11	7	1	1	51
35.3%	25.5%	21.6%	13.7%	2.0%	2.0%	100.0%

Q 1 創業塾受講年度（複数回答）

	①平成 26 年度	②平成 27 年度	③平成 28 年度	計
創業希望者交流サロン	14	12	18	44
	27.5%	23.5%	35.3%	86.3%
創業サポートアカデミー	6	6	7	19
	11.8%	11.8%	13.7%	37.3%

Q 2 最初に創業塾を受講した当時の状況

①計画中	②既に開業していた	③開業間近だった	④計画立案済みでこれから実施する	⑤計画なし	計
19	12	10	6	4	51
37.3%	23.5%	19.6%	11.8%	7.8%	100.0%

Q 3 現在の状況

①創業塾受講後に開業した（新分野含む）	②現在準備中	③創業塾受講前に既に開業していた	④開業の目途が立っていない	⑤断念した	計
18	14	10	7	2	51
35.3%	27.5%	19.6%	13.7%	3.9%	100.0%

Q 3 で、「創業塾受講前に既に開業していた」又は「創業塾受講後に開業した」と回答した方に質問（回答数 28）

Q 4 開業した年

①平成 28 年	②平成 26 年	③平成 27 年	④平成 26 年以前	⑤平成 29 年	計
10	9	6	2	1	28
35.7%	32.1%	21.4%	7.1%	3.6%	100.0%

Q 5 開業直前の職業

①正社員 (管理職以外)	②正社員 (管理職)	③その他	④専業主婦・主夫	⑤非正社員	⑥会社や団体の常勤役員	計
13	5	4	3	2	1	28
46.4%	17.9%	14.3%	10.7%	7.1%	3.6%	100.0%

Q 6 開業動機（複数回答）

①仕事の経験・知識や資格を活かしたかった	①社会の役に立つ仕事をしたかった	③自分の技術やアイデアを事業化したかった	④事業経営に興味があった	⑤自由に仕事をしたかった	⑥収入を増やしたかった	⑥その他	⑧趣味や特技を活かしたかった	⑨時間や気持ちにゆとりが欲しかった	⑩年齢や性別に関係なく仕事をしたかった	⑪適当な勤め先がなかった	計
14	14	13	8	7	6	6	3	2	1	1	75
50.0%	50.0%	46.4%	28.6%	25.0%	21.4%	21.4%	10.7%	7.1%	3.6%	3.6%	—

Q 7 開業業種（複数回答）

①サービス業	②医療・福祉業	③製造業	③技術サービス業	③教育学習支援業	⑥小売業	⑥不動産業	⑥飲食業	⑨建設業	⑨情報通信業	⑨生活関連サービス	⑨その他	運輸業	卸売業	金融・保険業	計
5	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	28
17.9%	14.3%	10.7%	10.7%	10.7%	7.1%	7.1%	7.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

Q 8 開業時の事業形態

①個人事業	②株式会社	③合同会社	その他	NPO法人	企業組合	計
17	7	3	1	0	0	28
60.7%	25.0%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%

Q 9 資本金（法人企業11社のみ回答）

①300万円未満	②300万円～500万円未満	500万円～1000万円未満	1000万円～2000万円未満	2000万円～3000万円未満	3000万円超	計
8	2	1	0	0	0	11
72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q 10 従業員数（家族・パート・アルバイト含む）

①0人	②1～2人	③3～5人	6～10人	11～20人	21～50人	51人以上	計
10	8	5	3	1	1	0	28
35.7%	28.6%	17.9%	10.7%	3.6%	3.6%	0.0%	100.0%

Q 11 開業費用

①500万円未満	②2000万円以上	③500万円～1000万円未満	1000万円～2000万円未満	未回答	計
22	3	2	0	1	28
78.6%	10.7%	7.1%	0.0%	3.6%	100.0%

Q 1 2 開業資金の調達方法（複数回答）

①自己資金	②日本政策公庫などの政府系金融	③銀行・信金などの民間金融機関	④創業補助金など国・県・市町の各種補助金	⑤調達していない	⑥家族・親戚・知人・友人	⑦県・市などの制度融資	親企業・元の勤務先	ベンチャーキャピタル・投資育成会社	クラウドファンディング	その他	計
22	7	6	4	3	1	1	0	0	0	0	44
78.6%	25.0%	21.4%	14.3%	10.7%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—

Q 1 3 開業後の現在月商

①100万円未満	②100万円～500万円未満	③500万円～1000万円未満	1000万円以上	計
21	6	1	0	28
75.0%	21.4%	3.6%	0.0%	100.0%

Q 1 4 現在の月商は、開業前予想（計画）の何パーセントか

①50%未満	②75%～100%未満	③50%～75%未満	④100%～125%未満	⑤125%以上	計
14	9	2	2	1	28
50.0%	32.1%	7.1%	7.1%	3.6%	100.0%

Q 1 5 開業直後と比較した売上推移

①増加傾向	②横ばい	③減少傾向	計
19	8	1	28
67.9%	28.6%	3.6%	100.0%

Q 1 6 現在の採算状況

①黒字基調	②収支トントン	③赤字基調	計
10	10	8	28
35.7%	35.7%	28.6%	100.0%

Q 17 開業時及び現在苦労していること（複数回答）

①売り上げの確保	①顧客・販路の開拓	③利益の確保	③従業員の確保	③従業員の教育・人材育成	⑥資金繰り・資金調達	⑥財務・税務・法務に関する知識不足	⑧経営の相談ができる相手がいない	⑨家事や育児・介護等の両立	⑩仕入先・外注先の確保	⑩IT・SNS等情報化への対応	⑫特にない	⑬その他	計
13	13	8	8	8	7	7	5	4	3	3	2	1	82
46.4%	46.4%	28.6%	28.6%	28.6%	25.0%	25.0%	17.9%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%	3.6%	—

Q 3で、「開業の目途がたっていない」又は「断念した」と回答した方に質問（回答数9）

Q 18 開業に至らなかった理由（複数回答）

①その他	②事業計画が未完成	②採算のめどが立たない	④資金調達がうまくいかない	④取引先の開拓ができない	④人材確保ができない	④研究開発がうまくできない	④家族や親戚の事情	④まだ自信がない	商品化ができない	経営ノウハウが不足	規制のため事業化できない	現在の仕事が辞められない	計
4	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	14
44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—

<その他の理由>

- ・現在の業務都合のため(1)
- ・計画後に出産し子育て中のため(1)
- ・具体的な開業業種が未だ決まっていない(1)

Q 3で、「断念した」と回答した方のみ回答（回答数2）

Q 19 創業に再度挑戦するか

①機会を見て再度挑戦したい	①挑戦しない	しばらく様子を見る	計
1	1	0	2
50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

全員に質問

Q20 産業振興センターの創業塾に参加して、どのようなことが役立ったか（複数回答）

①事業計画の立て方	②産業振興センターとのつながり	③創業に対する心構え	④創業者の体験談	⑤国・県等の助成や融資制度内容	⑥受講生とのネットワーク	⑦事業計画に対する助言	⑧税務・会計・法務知識	⑨会社設立手続き	⑩具体的な資金調達方法	⑪マーケティング	⑫講師とのつながり	⑬販売・宣伝方法	⑭プレゼンテーション力	⑮具体的な店舗の作り方	その他	計
32	31	26	23	22	21	20	20	14	12	10	7	6	5	3	0	252
62.7%	60.8%	51.0%	45.1%	43.1%	41.2%	39.2%	39.2%	27.5%	23.5%	19.6%	13.7%	11.8%	9.8%	5.9%	0.0%	—

Q21 産業振興センター創業塾のカリキュラムに加えて欲しいテーマ（任意記入）

創業の失敗事例とその原因(3)、補助金・助成金(2)、経営者体験談(1)、マーケティング(1)、ブランディング(1)、営業力強化方法(1)、資金調達方法(1)、契約書の作り方(1)、業種別動向(1)、青色申告記帳方法(1)、税務処理(1)、

Q22 創業塾終了後も受講生との交流はありますか？

現在も交流がある	交流はない	以前あったが今はない	無回答	計
22	21	6	2	51
43.1%	41.2%	11.8%	3.9%	100.0%

Q23 産業振興センターや商工会議所・商工会などの各支援機関に対して、どのような支援を期待しているか（複数回答）

①各支援機関とその支援事業内容を紹介してほしい	⑤先進経営者や異業種交流グループを紹介してほしい	⑦講演会やセミナーに参加したい	⑧高度な（専門的な）アドバイスがほしい	⑨資金調達について相談のってほしい	②メールマガジン等で情報を提供してほしい	③業界動向、売れ筋商品等の経営情報を提供してほしい	④創業塾OB会など、交流の場を設けてほしい	⑥自社の顧問・業務委託をするコンサルタントを紹介してほしい	⑩その他	計
22	14	14	12	12	10	9	7	2	2	104
43.1%	27.5%	27.5%	23.5%	23.5%	19.6%	17.6%	13.7%	3.9%	3.9%	—

Q 2 4 今後、「栃木県よろず支援拠点」の相談を希望するか

当面予定はない	希望する	無回答	計
29	19	3	51
56.9%	37.3%	5.9%	100.0%

自由意見（意見・要望・感想等）

（女性）

- 自分の進むべき道がイメージでき、少しずつではあるが前進出来た。今後もOB会等でつながっていききたい。
- 柔軟性を持った対応方法とアドバイスが創業者の助けになると思うので、個々に合わせたアドバイスを期待します。
- 現在すでにセンターの支援をいただいている。決算書の計数分析ができていないので、経営者として必要な経営分析の勉強の機会をいただけるとありがたい。
- 楽天ブログやフェイスブック、ツイッター、インスタグラムで、高校生にアピールするにはどうしたら良いかを知りたい。また、チャレンジショップに開店してみて、事業とは向社会的なものだと己の中で実感できた。
- 希望する業種（ネットワークビジネス）の方たちに特化した集まりに参加したい。例えばクラウドファンディング、情報管理、IT活用について、全く異なる業種の方を含めると時間が足りなくなるので、同業種の方と問題点を話し合いたい。
- 創業塾では、講師・受講生の皆様との交流を通し開業へのモチベーションをより高めることが出来た。内容もためになるものばかりで、計画もより具体的に練ることができたと思う。経営者としては駆け出しだが、何か力になれることがあれば、いつか恩返しをしいと思う。
- OB会の設立をサポートしていただいたり、非常にありがたい。
- （創業塾は）とても勉強になった。

（男性）

- 開業内容が診断薬（ヒト・生命医学）の原料開発と製造。県内事業者とその動向に関する情報が欲しい。
- 産業振興センター（26年度）、鹿沼商工会議所（27年度）、宇都宮商工会議所（28年度）の創業セミナーに参加した。インターネットビジネスで成功したいと思っているので、海外ビジネスを対象にした創業塾を企画していただきたく思う。これからも産業振興センター、各商工会議所の勉強会に参加していく。
- 国に対しては、「再チャレンジ支援」の具体策を法制化してもらいたい。金融機関は、法人・個人の形態に関係なく倒産すれば個人資産で融資を回収する実状にあることから、創業に対する融資制度の改正及びセーフティネットの新設が必要と考える。